

令和元年度蕨市母子保健連絡調整会議 議事録概要

日 時 令和元年8月6日(火)
午後1時30分～午後3時
場 所 保健センター(健康教育室)

- <出席者> 委 員：島崎会長 湊委員 三谷委員 鈴木委員 坂本委員
大坪委員 赤松委員
関委員 福田委員 伊東委員 石丸委員
事務局：朝倉保健指導係長 鹿嶋保健師
- <欠席者> 委 員：山崎副会長 原田委員
- <傍聴者> なし

- 配布資料 ①蕨市母子保健連絡調整会議次第
②蕨市母子保健連絡調整会議委員名簿
③蕨市保健センターの事業統計からの抜粋 乳幼児健診等の結果
④平成30年度妊娠期からの虐待予防強化事業実績報告
⑤蕨市子育て世代包括支援センター(母子保健型)
⑥平成30年度蕨市母子保健連絡調整会議議事録概要
⑦蕨市母子保健連絡調整会議設置要綱

委嘱状交付
会長挨拶
自己紹介

議事

<(1)平成30年度事業実施報告について>

◆事務局説明：平成30年度事業実施結果、主要事業について説明。

- ① 平成30年度 母子保健事業、歯科保健事業(母子関係)、予防接種事業結果報告
- ② 平成30年度「妊娠期からの虐待予防強化事業」実績報告

○会 長：平成30年度事業について何かご質問・ご意見はございますか。

○委 員：精神発達2次健診で医療機関を紹介しているが、紹介先の医療機関はどこの多いですか。

◆事務局：川口市立医療センター、済生会川口総合病院、県立小児医療センター、都立北療育医療センターなどです。

○会 長：他にご質問などございますか。

○委員：乳幼児健診の未受診者の対応についてと、外国人への対応はどのようにしていますか。

◆事務局：未受診者の対応は健診後に2回電話連絡をして、連絡がつけば次回の健診の案内をしています。連絡がとれなければ訪問し、留守の場合、健診の案内の手紙を置いてくるなどの対応をしています。

それでも未受診の場合は、保育園や、幼稚園の所属はないかを児童福祉課を通じ確認し、所属が確認できれば、登園状況の確認を依頼しております。

外国人の方であれば、国外に出ていないか児童福祉課を通じて要保護児童対策地域協議会にあげ、出入国調査を行い確認しております。

○会長：その他ご質問はございますか。

○委員：質問ではないですが、股関節脱臼スクリーニングや眼のオートレフ検査で要治療となるお子さんがいらっしゃいますね。オートレフは遠視のお子さんが多いようですが、治療に結びついているようであれば実施して良かったのではないかと思います。

○委員：妊婦歯科健診については、平成29年度に個別健診になってから、少しずつ増加しているようですね。

◆事務局：昨年度は、保健センターに妊娠届出をされた方に、妊婦歯科健診の受診券を見ていただき、その都度説明して受診券をお渡しして受診を促しておりました。今年度は、子育て世代包括支援センターが開設されましたので、面接をしながら母子健康手帳の交付をいたします。その面接の中で、妊娠期の講座や妊婦歯科健診について時間をとって説明ができるようになりましたので、妊娠期の講座参加者や妊婦歯科健診の受診者の増加につながればよいと考えております。子育て世代包括支援センターについては今年度6月3日からの新規事業となりますので、次の議題（2）でご報告させていただきます。

○会長：他に何かご質問はございますか。ないようでしたら、議題（2）に移ります。

<（2）令和元年度事業について>

◆事務局：子育て世代包括支援センター（新規事業）について説明。

目的：妊娠届出時、乳幼児健診時などの機会をとらえ、また、関係機関との連携等により、妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、妊産婦や保護者の相談に保健師等が対応するとともに、必要な支援の調整や関係機関と連絡調整など、妊産婦や乳幼児等に対して切れ目のない支援を提供し、育児不安や虐待の予防に寄与することを目的とする。

対象者：妊産婦及び乳幼児（就学前まで）

内容：妊娠期から子育て期の切れ目のない相談支援や、支援について関係機関との連絡調整。妊娠期は妊娠届出時にアンケートに記入をいただき、その内容を基にリスク判定を行い、支援が必要と判断した妊婦について、支援プランを作成し、相談・支援を実施していく。その他、全妊婦に妊娠期の講座、妊婦歯科健診の案内、出産後の乳児家庭全

戸訪問やその他当市の子育て情報を案内し、面接ができた方については直接説明をしている。

○会 長：今年からできました、子育て世代包括支援センターについて、ご質問はございますか。

○委 員：妊娠届は3か所で受理しているとのことですが、それぞれの数を教えてください。

◆事務局：6月は市民課31人、東公民館5人、子育て世代包括支援センター16人です。7月は市民課40人、東公民館3人、子育て世代包括支援センター26人の届出となっています。

○委 員：代理の方の届け出の場合、アンケート未記入の場合の対応を教えてください。

◆事務局：代理の届出も可能ですので、その場合は後日電話連絡をして、アンケートの聞き取りを行っています。また、可能であれば日にちを改めて面接をしようと考えております。外国人の方で連絡がつかない場合などは、訪問で対応とする予定です。

○委 員：妊娠届は市役所の市民課が多いということですが、表示やアンケートを記入してもらうような工夫はしていますか。

◆事務局：センター開所時に市役所の市民課と東公民館に説明に行き、子育て世代包括支援センターで面接をしながらの母子手帳発行についての周知いただくよう依頼をしました。また、市民課の受付場所にも、子育て世代包括支援センターの主旨やアンケート記入のお願いを表示し、できるだけ、子育て世代包括支援センターへ妊娠届を提出いただくよう案内を掲示しております。その他、同様の内容のポスター掲示を戸田蕨市内の産婦人科医療機関に依頼をいたしました。まだ、子育て世代包括支援センターへの妊娠届出は少ない状況ですので、今後さらにPRしていきたいと考えております。

< (3) その他 >

◆事務局：大人の風しん抗体検査と風しん第5期予防接種について説明。

対象者：昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性

内容：風しん抗体検査でそれぞれの検査方法で基準値より風しん抗体価が低い場合に、風しん予防接種を実施。ワクチンはMR混合ワクチンを使用。

○会 長：何かご質問はありますか。

○委 員：当医院の様子では、まだあまり受けていないような感じがしております。今後さらにPRが必要だと感じておりますがいかがでしょうか。

◆事務局：開始年度である今年度は、対象の方のうち昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの方に個別通知（クーポンの送付）をしております。また、昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの方には希望者にクーポンをお送りしております。その他、ホームページや、広報にも掲載しておりますが、実際に受診された方

の数、これから集計となりますので、集計結果が出ましたら周知について検討していきたいと考えております。

○委員：先天性風疹症候群の予防で妊婦さんへの感染予防としては、やはり抗体価が低い方への予防接種が有効ですね。埼玉県でも流行しているようでしょうか。

○委員：この管内でも罹患者が出ています。年齢をみると、風しんの予防接種を受けたことのない男性ということが多いようです。さらなるPRは必要だと思います。

○委員：今回風しん抗体価が低い場合、予防接種はMR混合ワクチンの接種になるのですが、来年のオリンピックに向け、オリンピック関係者にMRワクチンの接種を勧めているようですので、ワクチンの供給不足が懸念されますね。

◆事務局：もし、そのようなワクチン供給不足が生じましたら、国や県から通知があると思いますので、医療機関へ随時情報提供をさせていただきます。

○会長：他にご質問はありますか。

◆事務局：昨年度の会議で、健診の問診票などに外国籍の方にわかるように英語表記など、何かしら工夫ができれば検討いただきたいというご意見をいただきました。問診票に英語表記も考えましたが、現在当市の外国人登録の方をみると、中国、ベトナムの国籍の方が多く、他にも難民の方でトルコの国籍の方も増えている印象があり、英語もわからない外国籍の方も多い状況であります。それらの状況も踏まえて、自動翻訳機を購入いたしましたので、健診、訪問等で活用していきたいと考えております。

○会長：乳幼児健診ですが、4か月児健診のあと1歳児健康相談は実施されているようですが、健診となると1歳6か月児健診となり間が空いてしまう状況ですね。できれば7～8か月頃に健診ができると良いとは思いますが、受け入れ態勢の問題などもあるので、今行っている乳幼児二次健診を活用して、それを充実させるなども含め検討していくと良いのではと思います。

◆事務局：4か月児健診のあと、1歳児健康相談で発育・発達等の確認はしておりますが、次の健診ということであると、1歳6か月児健診まで健診の間隔が空いている状況です。次の健診までの間に健診ができると良いというご意見をいただきましたので、今後検討していければと考えております。

○会長：事務局の方よりその他検討事項はありますか。

◆事務局：特に他にはありません。

○会長：何かご質問や・ご意見はございませんか。ないようでしたら、議事を終了させていただきます。

午後2時50分事務局より閉会を宣言

蕨市母子保健連絡調整会議
会長 島崎 信次郎